

周望学舎

かわら版

第3号

コース紹介
特集号

平成 27 年

12月

発行
周望学舎
新聞編集
委員



pixta.jp - 16557727



地域ふれあい

今、地域に何が必要か

さまざまな地域活動を知り、地域福祉やまちづくりに必要な技能を学ぶ我がコースは、男性8名女性24名でスタートしました。福祉事業サービスの取組みで障害者と共に歩むことから始めれば、自然体で障害者・弱者とも付合える事と思います。在籍者の中にはすでにボランティア活動に従事している人々が居ります。先ず身近で行なえる手助けを話し合いながら、健常者にも機を見て紹介して今まで以上に地域に目を開き、問題を見つけ何か手助け出来ないかを実践して行けば、自分自身の心の豊かさにつながり積極的にボランティア活動が拡大されると信じます。助け合いの広がりにはきっかけが必要です。地域ふれあい助け合い支えあいの意義を理解して、今後の活動に積極的に参加したいと思います。

(友定勝美)



穴生学舎と交流会

心と身体の健康

心も身体も健康になった

このコースは座学が少なく、他の「健康系コース」のような登山は有りませんが、アロマセラピー・タイ古式マッサージ・ストレッチ・太極拳・ヨガ等々、まさしく心と身体の健康のための講座が多く組み込まれています。

ショックだったのは『姿勢・歩き方講座』でした。講師の方から一人ずつ歩き方のチェックをしていただいたのですが、自分では「姿勢は良い」と自負していたのに随分指摘を受けて直されました。背筋を伸ばしているつもりだったのに、前かがみになって歩いていたのです。

二次募集でやっと入れたコースでしたが、「残り物に福有り」。

明るく楽しく仲間にも恵まれて、心も身体も健康になったぞ！

(中村清一)



歩き方のチェック

健康づくりサポーター

ニュースポーツは楽しい！

コースの特徴は、何といたっても“教室外”での授業が多い事です。体育館ではストレッチや太極拳、ニュースポーツ…校外では軽登山、ウォーキングです。特に、ニュースポーツは“8種目”も授業があります。ルールが簡単な割には、それなりにいろんな戦術が考えられます。一投一打で勝敗が左右される事もあって…多少の緊張感もあり、チームで考えて競技をする事で交流が深まり、拍手や喚声、笑い有りの楽しい授業風景が見られます。そして何よりも健康ボランティアの方が競技する為の準備からルールの説明、審判、進行まで全てお世話してくださり、私達のニュースポーツの授業が成り立っています。感謝しながら～残り3種目を楽しみたい…！

(小川敏夫)



ストレッチ理論と実践

国際情報

国際情報コースの取り組み

我が国際情報コースは男性 18 名、女性 24 名の大きな集団のコースです。

学舎にはスポーツ大会、大学祭、修学旅行の三大行事がありますが、我がコースは特に「大学祭は全員参加」ということで、キャッチフレーズは「明るく、楽しく、元気」と決定しました。研究課題は 6 班に分け、各国の歴史及び文化等を調べ発表、展示しました。発表に関しては、どの班も資料の収集、編集にかなり努力したと思います。その分を個々のグループの絆が深まったと思います。演芸大会は「春」と「高校三年生」を合唱しました。

11 月の修学旅行から来年 3 月の修了までの少ない日数を楽しく過ごしたいと思います。(山下充芳)



門司税関見学

アジアを学ぶ

「アジアを学ぶ」を選考した理由

会社で毎年 2 月に慰安旅行に行くため、東南アジアに興味を持った。今、IS がかなり激しく暴れているが、東南アジア関係の現状が大変解りにくい状態なので、「アジアを学ぶ」の講義を聞けば分かると思って受講した。

講義自体は先生方が海外青年協力隊等で現地に行っ て現地の実態や現地の方と共に過ごした方々なので、面白く楽しく聞けるが、IS の関係はまだまったく分からない。私がフィリピンに行った時感じた事は、かなり貧富の差が激しかったこと。スラム街等も見たが、街全体は大変活気があり日本のバブル時代を見る感じだったので、これからは東南アジア関係が世界経済を牽引して行くものと思う。これからも動向に注意していこうと思う。(清長春海)



ある日の研修風景

ふるさとの文化

われらが町の歴史・文化に学ぶ

私は、子供の頃から歴史好きでしたが、郷土の歴史は意外と知らないものだと痛感しました。

このコースは毎週火曜、多彩な講師陣による北九州の郷土史や俳句、川柳に到る幅広い講話とその質疑応答に起きる笑いで、楽しく学ぶ午前と午後の各 2 時間が「あっ」と言う間に過ぎます。

入学前に友人から聞いた『ふるさとの文化』は、人気があって競争率が高いとの評を実感しています。

秋の大学祭展示のため、我が 1 班 7 人はこの夏真っ盛りの日「門司の史跡めぐり」で地域の取材活動を行い、作品を製作・完成した体験は『貴重な宝』となりました。自分達で目標を決め、全員で取組み、課題を完成させる、これは人生のいきがいですね。(長澤信男)



スポーツ大会

生活情報

明るく、元気に、仲良く

「草花の歴史」では、実物の草や葉を観察しながら万葉植物を学びました。裁判所見学では、裁判長席を囲んで全員で記念撮影。「悪徳商法」ではしっかり者ほどだまされ易いとのこと。自家製名刺の交換会ではしおり形やクローバー形の名刺を受け取り、級友の柔軟な発想に感心。音楽の時間では歌いながら鈴を鳴らし、太鼓をたたき合っ て童心に返りました。

「明るく、元気に、仲良く」これは私達コースの合言葉です。学校行事でも、普段の研修室でも、この言葉を目標に行動しています。

私達は生活(くらし)の情報(知恵)を学ぶコースですが、まだまだ知らないことが多い。次はどんな講義(お話)に出会うのか、みんなワクワクしながら登校しています。(青木英樹)



楽しく音楽タイム

歴史に学ぶ

はじめての大学祭

昨年の6月迄東京で仕事をしていて、現役時は仕事に没頭していました。退職後は毎日が休日です。退屈の日々、「鬱」になりかけていました。その時周望学舎の事を知り、今年応募し入学しました。4月15日のホームルームの時、色々な役員選出があり私はよく分からない内に「大学祭実行委員」に選出されました。何しろ初めての事なので、具体的に「何を・何時迄に・どのように」したら良いのか分かりませんでした。クラス全員で「テーマ・演芸」の話し合いをしている時も何度か滞りが起きた事もありました。しかし、クラスの皆様の協力のものと何とか無事に大学祭を乗り切ることが出来ました。いい勉強をさせて頂き大変有難うございました。

(内田明彦)



大学祭の展示物の前で

暮らしと環境

「出会い」今を生きる

私が見た戦後日本の夜明け、昭和39年の輝かしいオリンピック、翌年はオイルショックで不況のどん底を味わう。激動の日本、昭和43年を機に高度成長期の波に乗り、貧乏国から一挙に世界の経済大国となった。近代「科学の発展と物の豊かさ」その狭間に日本のモラルがちと気にかかる。時に、昭和43年市政だよりに周望学舎おばあちゃん大学の開講を知る。母は水を得た魚。即応募し、周望学舎の研修生になった。木彫コース、陶芸コースと数年を数え今も遺作の鎌倉彫の鏡に重宝している。私も第2の人生を本学に寄せ、良き友良き講義に感謝している。生活の一部に、百瀬ミュージックグループに籍して月に数回、老人ホームの慰問に歌を歌い、皿回しの遊技など少しでも皆さんの癒しの糧にとボランティア活動に努めている。遠く、人生の歩みを逆算する年代になった。

(中村重一)



新たな出会いを求めて

健康管理

明るく・楽しく・元気良く

コースのネーミングはかたいイメージですが、メンバーは「明るく・楽しく・元気のいい」少年少女の集団です。コース生男性14名の平均年齢は71.64歳、女性28名は72.07歳です。これでも学舎初入学ギャル7名イケメン1名が居て…もし居なければ大変。初入学生に感謝、感謝。主な研修内容は、研修室での座学「東洋医学・脳の病気・歯と口の病気などなど」二つ目は体育館でのスポーツ「太極拳・ヨガ入門・体力づくり…」三つ目は校外研修「火の山・山田緑地・皿倉山登山…」入学から7ヶ月が経ち座学・勉強嫌いの集団と思っていましたが、現実には勤勉で健康で楽しい人ばかりです。残り少ない学舎生活を「健康クラブ」で楽しく学んでいきたいと思っています。

(中尾哲)



皿倉山登山

体力増進

コース紹介

当コースは今年度新設されたコースで、競争率3倍の狭き門を突破した強運の持ち主達と、元気な新人15人から成る定員42名のコースである。

こうした背景から皆前向きに授業に取り組んでいる。

特に新人達は、学舎生活を大いに満喫し、諸行事にも積極的に参加している。

特徴は、楽しく身体を動かし、筋力や持久力を培い体力づくりにつなげ、又、野外活動やレクリエーションを通して心と体のリフレッシュを目的にしている。

具体的には、筋力運動、有酸素運動、ニュースポーツ、軽登山、ウォーキングをカリキュラムの中心にしている。

体力不足の我々には持ってこいであり、今後の体力維持に非常に効果ある内容である。

そしてなによりデスクタイムが少ないのが一番である。

(中村彰)



貯筋運動

花と野菜づくり

花と野菜づくりから学んだこと

毎回、おはよう、おはようございます、の明るい声から始まる花と野菜に興味を持つ 26名の陽気な仲間たちです。このコースは経験の少ない人から、すでに菜園らしき事をやられている方等色々ですが花の岡原先生、野菜の村田先生の興味をそそる楽しい授業内容で、畑作業の長靴に付着した土との触れあいから、鍬を振り上げほどよい汗の快い感触、太陽のエネルギーを受けながらの実技等が学べます。その色々な学びの中で特に一番大切な事は、花や野菜に毎日語りかけながら育てる心が大切である事も学びました。私達コースの仲間は人と人のふれあいを大切にする仲間達です。きっと素敵な花を咲かせ、きっと美味しい野菜を作れる花と野菜づくりの仲間達です。

(久野英人)



この畑で育ててます

写真入門

コースの紹介

私も永らく学舎に通っていますが、今年の写真入門の研修生は前代未聞とも言える新人の研修生が3分の2を占める構成で始まり、1年間の授業が出来るのか大変心配をしておりました。何の何の、3ヶ月を過ぎる時には流石写真好きの新生、写真内容についてはプロ級の腕前で、屋外撮影などでは我々古参の者をぐいぐい引っぱって行き、追いつくのがやっとでした。学舎内の規律規則もどうにか覚え、半年を過ぎた今日では立派な写真入門生に育っております。年間三大行事の2つまで終わり、最後の修学旅行を楽しみにシャッターチャンスを狙っています。大学祭の展示コーナーでは見事な作品を披露し、大勢の人々に感動を与えたと思います。残りの撮影時間を大いに楽しみたいです。

(藤山純一)



バラ園で野外撮影

陶芸

陶芸コースへのさそい

周望学舎を知人より紹介され、年間コースの中より陶芸コースを選択。陶芸など自分に出来るかなと思いながら申込み用紙を提出し、無事入学式となりました。

最初の実技講習は湯のみ茶碗作成。先生の指導を受けながらの作成。粘土に触れるのも初体験ではありましたが、先生の指導のもと作成完了。上出来とは言えない中、2個目に。ところが1個目より早く作成する事が出来、仕上がりも最初より良いのではと、その後も筆立て作成では、たたら作り化粧土ぬり、かき落としの技法を学び、又ねり込みによる香炉、ワインカップ等わずか半年で作成。大学祭の作品展示まで可能に。残る後期に於きましても、自己のレベル向上を目指しがんばりたいと思います。

(桑原秀夫)



熱心に作成中

書道入門

書道入門は筆の楽しみ

現在の書道入門コースは、男性 10名、女性 14名。女性上位のコースです。入学時の自己紹介では、筆を持つのは小学校以来、数十年ぶりとのことでした。実際の技量内容も疑いもなく初心者ばかりで、安堵し胸をなでおろしました。早いもので7か月過ぎようとしています。講師久米先生の熱心なご指導のもと、各人それぞれであります。見違えるような技量の持ち主となり、自信にあふれる毎日です。特に大学祭作品展は、表装、印鑑の2点セットの援軍を得て、本当に自分の作品かと疑うばかりの出来映えでした。コースは①宿題が出る②授業の度に作品を廊下に展示③授業中は各人真剣勝負で高度なテクニックを要し、難易度が高いです。しかし、全員それぞれの対応で充実した日々を過ごしています。

(高橋逸雄)



まずは講師のお手本を見て